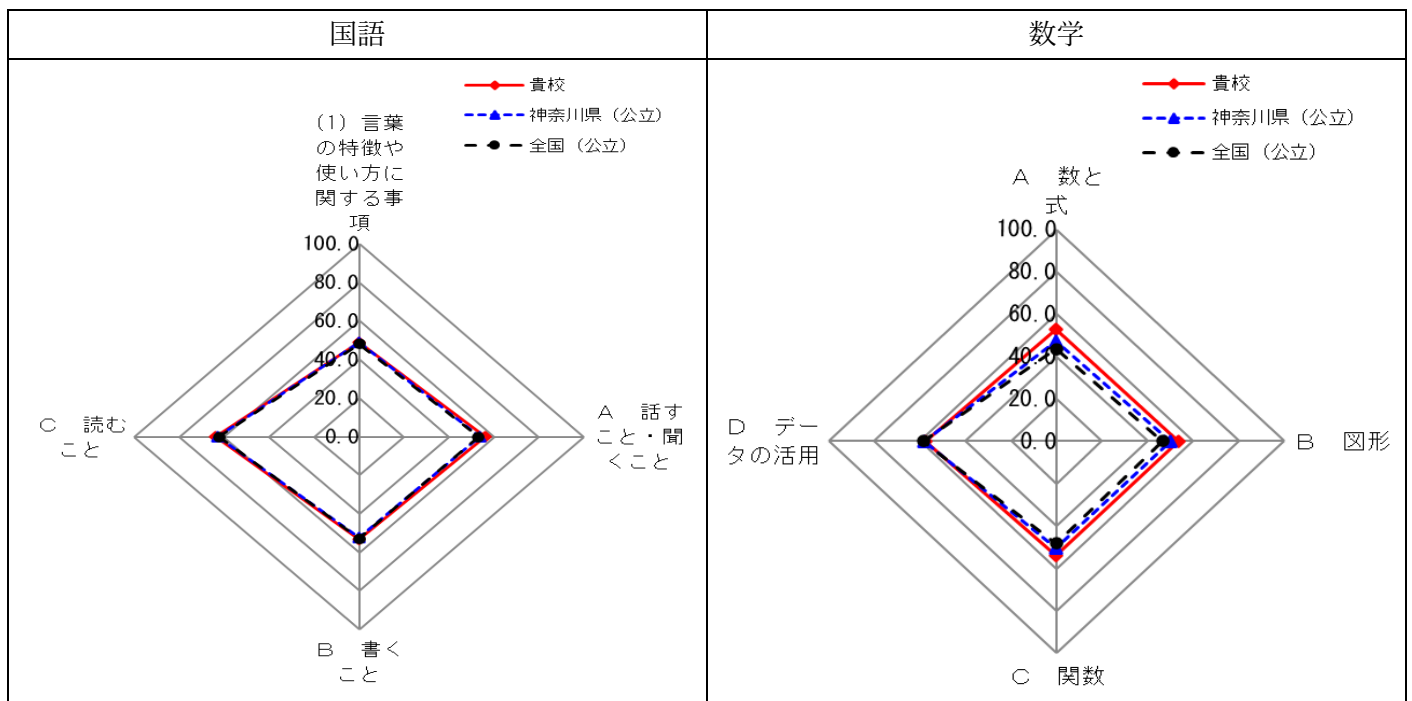


令和7年度 全国学力・学習状況調査(舞岡中学校の結果及び考察)

4月15日、4月17日に実施された全国学力・学習状況調査の本校3年生の結果の概要をお知らせします。



【分析】

国語科では、「話すこと・聞くこと」の項目が、県・全国の平均を少し上回りよくできていました。その他に関しては、県・全国の平均値と同様でしたが、「書くこと」の項目に関しては、やや課題がありました。

数学科では、ほとんどの項目で、県・全国の平均値を上回る結果でした。「データの活用」では県・全国の平均値でしたが、やや課題がありました。

理科では、県・全国の平均値を越えた項目もあれば、そうではない項目とがはっきりと分けられました。分野によって正答率の変動が大きかったように見受けられました。

また、生徒質問紙の調査の結果から、教科の学習に対する関心は教科により多少差はありますが、教科の基礎学力はどの教科についても、神奈川県の基準より上回っています。

学校生活については、「学校が楽しい」と思っている生徒は県・全国の平均を大きく上回っています。一方、「自分にはよいところがあると思うか」という質問については、県・全国の平均を下回り、自己有用感がやや低いことが見受けられました。

【今後の取組】

全体的にみると、教科によってのばらつきはあるが、概ね県全体・市の平均を上回っており、基礎基本の学習内容は、着実に定着していると考察します。今後も継続的に丁寧な指導を行います。また、どの教科についても、記述式の問題や自分の考えを述べる問題に課題があるので、日ごろの授業の中でも、応用力等を身につけられるようにICT等も積極的に活用しつつ、授業改善を行っていきます。

さらには、生徒一人ひとりの課題に合った指導やアドバイスを意識していきます。また、日々の関わりの中で子どもたちが達成感を感じられるような声掛けや指導をしていきます。